

# げんこう用紙の使い方

題名は、はじめの行に書く。

「上から二、三行空ける。」

○○○雨の日のひみつ

一まず空ける。

ますぐらい空ける。

西村○あおい○

文章のまとまりのはじめは、一まず空ける。

「今から公園に遊びに行こう。」

丸とがき(○)は一まずに書く。

とさそうので、わたしはびっくりして外を見ました。雨がふっていたからです。

嵐や丸が行のほじめに来ないように、前の行のいちばん下のますくに書く。

「でも、ぶらんこもシーソーもぬれているよ。」

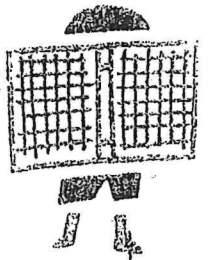
○わたし、雨の日がて大きらい。

と言うと、南さんはわらって首をふりました。

「雨の日にも楽しいことはあるんだよ。」

会話文の、二行目より後の行は、はじめを一まず空ける。

文部省中等教育研究所  
36 西村 37 38  
書写  
三年  
平成23年2月24日 発行  
平成27年2月 1日 印刷  
平成27年2月 5日 発行



## 各種 原稿用紙 字数早見表

| 字×行   | 桁数×行   | 総時数   |
|-------|--------|-------|
| 13×14 | 4枚+5行  | 793字  |
| 14×14 | 4枚+1行  | 798字  |
| 15×12 | 4枚+5行  | 795字  |
| 15×14 | 3枚+11行 | 795字  |
| 15×16 | 3枚+5行  | 795字  |
| 15×20 | 2枚+13行 | 795字  |
| 16×18 | 2枚+14行 | 800字  |
| 22×15 | 2枚+6行  | 792字  |
| 22×20 | 1枚+16行 | 792字  |
| 26×17 | 2枚+12行 | 1196字 |

○字数は本文のみ

○字数は「行」で数える

(※別紙)

ニマス空ける

工夫した題名にする。  
題に「子」を全休に「し」をフけない。

一行目：題↓

二行目：...  
三行目：...  
本大

あきらめない心

練馬第一小三年練馬太郎

この本を読んで、私がすごいなと思、たところは、ケイトさんが自分の夢をあきらめず、さばくた。たサンデイエゴを緑い、ばい的美丽い町にしたところです。

絵もとてもきれいで、私はケイトさんに「やったね」と拍手してあげたくなりました。

この本の中には「き」と「き」というケイトさんの言葉がたくさん出てきます。「木はあの公園にもき」と育つ。「き」と見分かる。のようによです。

擬態語けひらがな

絵を描いていると「るんるん」な気持ちになって誰かにほめられるととてもうれいす。お母さんの手をぎぎとにぎりたくなりました。

参考：読書感想文ニ。一六、教育会学校図書館部発行

会話文は  
改行する  
引用文は  
改行せず  
長の手紙  
文章中に  
書き入る

擬音擬態  
「るんるん」  
「ぎぎ」と  
擬態語

会話文の改行前に読点の行

句読点(、)が文末のときは、最終マス内に書く。